

COMPANY RESEARCH AND ANALYSIS REPORT

|| 企業調査レポート ||

パンチ工業

6165 東証スタンダード市場

企業情報はこちら >>>

2025 年 10 月 17 日 (金)

執筆：フィスコアナリスト

山本泰三

FISCO Ltd. Analyst TAIZO Yamamoto



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

■ 割安是正で株価は2～6倍高へ 長期ビジョン「Vision60」で利益は約5倍

意欲的な中期経営計画と足もと業績トレンドの変化に注目

パンチ工業<6165>の株価における割安是正の動きが注目される。同社の 2026 年 3 月期は主に国内需要の回復の遅れから、売上高で前期比 0.7%増の 41,100 百万円、営業利益で同 16.9%減の 1,400 百万円と減益予想となる。一方で PBR は 0.5 倍と 1 倍を大きく下回り、配当利回りも 4.51%と高い。5 月には長期ビジョン「Vision60」が発表され、金型および FA 市場の成長を取り込む形で、2035 年 3 月期に売上高 80,000 百万円、営業利益 8,000 百万円を目指す方針が示された。前期からの営業利益 CAGR は+17.5%となり、前期で 4.3%と低い ROE も大幅に改善することになる。少なくとも PBR1 倍までの回復改定で株価は 2 倍、長期ビジョン達成時で上場企業の平均となる PER15 倍だと株価は 2,600 円超（現株価の約 446 円と比較して約 6 倍）と試算される。

1. 2026 年 3 月期の業績

足もとの業績好転も株価上昇のカタリストとなりやすい。8 月 8 日に発表された 2026 年 3 月期第 1 四半期決算は、売上高で前年同期比 5.3%増の 10,171 百万円、営業利益で同 26.5%増の 384 百万円となった。同時に中間期および通期業績予想を上方修正しており、中間期は売上高で前年同期比 2.6%増の 20,500 百万円(事前予想は同 0.2%減の 19,950 百万円)、営業利益で同 15.5%増の 800 百万円（同 30.7%減の 480 百万円）、通期は売上高で前期比 0.7%増の 41,100 百万円（同 2.3%減の 39,880 百万円）、営業利益で同 16.9%減の 1,400 百万円（同 31.8%減の 1,150 百万円）予想となる。主として中国事業等の海外事業が好調に推移し、業種別では自動車関連及び電子部品・半導体関連の受注が増加している。アメリカの関税影響を受けての全般的な設備投資需要への慎重姿勢は懸念材料であるものの、減益から増益への転換点となる。

2. 事業の概要

なお、同社は 1975 年創業の金型部品メーカーで、主にプラスチック製品の製造工程で用いられる射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピンやスブルーブシュ等の金型用部品、プレス金型用のパンチ・ダイやダイセットガイド等の製造・販売を行っている。同社製品は金型を構成するためにはなくてはならないため、生活を支える「縁の下の力持ち」となる。金型用部品は、汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップする「カタログ品」とカスタムニーズにも柔軟に対応する「特注品」に分けられているが、同社は日本・中国で特注金型部品シェア 1 位となっている。2,000 台以上の設備で幅広い対応力を持つ一貫通貫の生産体制や顧客密着型の営業体制、創業以来培っている高い技術力が特徴となる。

国内では、全国 10 カ所に販売拠点で約 6000 社の顧客と取引を行い、中国では約 8 千社の顧客と取引を行っている。2025 年 3 月期における地域別売上高構成比では、日本 28.4%、中国 57.3%、東南アジア 4.8%、欧州その他 9.5%。業種別売上高構成比では、自動車 42.1%、電子部品・半導体 17.1%、家電・精密機器 9.4%、その他 31.4%。金型用部品の新規顧

パンチ工業 | 2025 年 10 月 17 日 (金)
6165 東証スタンダード市場 | <https://www.punch.co.jp/ir/>

客開拓はカタログ品の取引からスタートし、顧客の信頼を高めてから付加価値の高い特注品の受注を獲得していく営業戦略となる。カタログ品と特注品の比率は 4.5 : 5.5 程度と特注品。継続的な受注が見込まれるカタログ品が工場の稼働率を安定させる役割を果たし、付加価値の高い特注品を獲得することで利益率を高めていくバランスのとれた構造になっている。

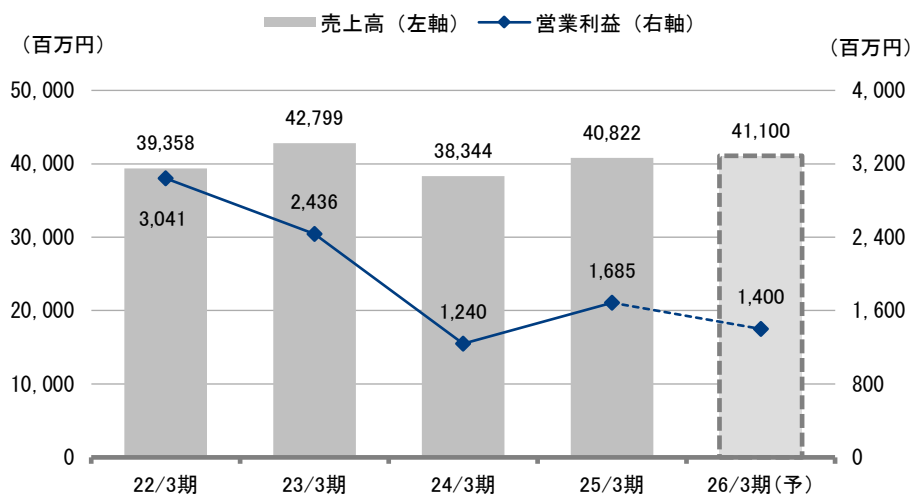
3. ミスミグループ本社との提携と成長戦略

同社はミスミグループ本社<9962>と資本業務提携契約を締結しており、付加価値の高い特注品ビジネスにより特化して持続的な利益成長を目指している。ただ、同提携は、パンチグループとミスミグループが対等なパートナーとして継続的に共存共栄を図り、産業界全体の繁栄を目指すものである。ミスミグループはカタログ品を顧客工場に短納期で供給する「グローバル確実短納期」の強固な供給体制およびデジタル対応力に強みを持っている一方で、パンチグループは精密加工技術のノウハウおよび標準部品から特注部品までの幅広い対応力を有しており、互いの強みを最大限に活かしていく狙い。国内市場の成長鈍化や高齢化社会の進展、後継者不足やコスト高などの難しい市場環境のなかで、「標準品」×「特注品」の協業によりグローバルに事業成長を果たしていくようだ。

Key Points

- ・減益見通しの 2026 年 3 月期は、1Q が増収増益と好スタート、通期予想を上方修正と業績に変化の兆し
- ・2035 年 3 月期に売上高 80,000 百万円、営業利益 8,000 百万円と意欲的な中計も発表
- ・ミスミグループ本社との資本業務提携でグローバルに事業成長へ

業績推移



パンチ工業 | 2025 年 10 月 17 日 (金)
6165 東証スタンダード市場 | <https://www.punch.co.jp/ir/>

重要事項（ディスクレーマー）

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp